

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（平成27年度第1回）

議 事 要 旨

- 1 日時：平成27年7月29日（水）14：00-16：30
- 2 場所：独立行政法人国際交流基金第1セミナー室（9階）
- 3 出席者：
 - （1）委員
渡邊一弘委員長、宮本和之委員、山本裕子委員、渡辺政宏委員
 - （2）外務省
広報文化外交戦略課 橋本博史外務事務官
 - （3）国際交流基金
安藤理事長、櫻井理事、沖部上級審議役、小野総務部長、古屋経理部長、清水監査室長、平林会計課長、審議案件担当者
- 4 主要議事：
 - （1）平成26年度契約状況について（報告）
 - （2）再委託案件、一者応札・応募案件について（報告）
 - （3）個別案件（7件。うち3件は連続一者応札フォローアップ含む）の審議
 - （4）平成27年度国際交流基金調達等合理化計画（案）について（審議）
- 5 主要議事概要：
 - （1）**平成26年度契約状況について（報告）**
26年度契約実績について、競争性のある契約が件数・金額ともに前年度比で増えたこと、一者応札・応募も若干増加したこと、また、随意契約については、基金事業の特性によるやむをえない随意契約を除くと「随意契約見直し計画」の目標値を達成していることを事務局より報告。
 - （2）**再委託案件・一者応札・応募案件について（報告）**
27年度4月及び5月契約のうち、再委託案件（9件）及び一者応札・応募案件（10件）について事務局より報告。
 - （3）**個別案件の審議（案件一覧は別紙の通り）**
 - ア 「日本語能力試験2015年6月模擬試験実施契約（バンコク）」
基金：日本語能力試験本試験の受験者を対象に模擬試験を行うため、本試

- 験の実施団体を模擬試験実施の契約相手方としている（随意契約）。
- 委員：では本試験の実施団体についてはどのように契約相手方を選定しているか。その団体の知名度が上がる等、受託によるメリットが見込まれるのであれば、公募により募集できるのではないか。
- 基金：施設や体制面など試験運営を実施できる団体は限られており、過去の実績や相手国の文部科学省に相当する省庁等に相談しつつ契約相手方を選定している。ただ、模擬試験とは異なり、本試験の場合は現地での実施経費は現地が負担することになっているうえ、受験料収入については基金に還元する前提となっているため、実施機関になることにより収益が見込まれるわけではない。
- 委員：経済的なメリットがなくても、他のメリットがあれば実施機関になることを希望する団体はあるのではないか。同一団体が長期にわたり受託する可能性があることも考えると、新規参入の機会を確保して公平性を担保し、競争性の導入を検討してはどうか。
- 基金：国や地域の個別の状況によって、競争性を導入できる場合と難しい場合があると思われるため、今後の契約相手方選定において、よく検討したうえで個別に判断していきたい。

イ 「防災備品購入契約」

- 基金：障害者優先調達推進法に基づき障害者就労施設からの調達を推進する方針を定めている。本件については予定価格が160万円を超えない財産の購入であることから随意契約が可能な範囲であり、同方針を適用して障害者就労施設から調達したもの。
- 委員：数ある障害者就労施設から本団体を契約相手方に選定した理由は何か。
- 基金：入手しようとしていた防災備品全てを調達できる団体を他に見つけることができなかつたため。
- 委員：障害者就労施設からの調達について競争性を導入する必要はないと考えるが、特定の施設のみからの発注に偏ることのないよう、できる限り様々な施設から調達していくようにするとよいだろう。

ウ 「日本語学習eラーニング総合サイトの『システム調達』及び『コンテンツ制作』にかかるベンダー選定支援業務及び開発工程管理業務委託契約」

- 委員：コンサルティング業務の企画競争であり、非常に専門性の高い内容のようだが、企画提案書はどのように評価したか。
- 基金：外部専門家も審査委員に入ってもらい、仕様書の項目に従って書類審査と面接審査を行った。
- 委員：企画競争を行う前に二度の一般競争入札が不調に終わっているが、予算の上限額が分からないと入札に参加しにくいという業者の回答はど

ういう意味か。

基金：本件はオリジナル教育サイトの開発にかかわるコンサルティングという特殊な業務で類似案件も少ないため、どの程度の時間と労力が必要となるか推測しづらく、業者側では、価格の目安がない状況で応札しても受注できる目処が立たないと考えたようである。このため、予算の上限額を提示する企画競争に切り替えた。

エ 「関西国際センター複合機保守契約」

委員：本件は複合機が無償リースのため、保守を同社との随意契約となっている。他社でも無償リースを行っているのではないか。

基金：新規に無償リースを得る前提で他社との比較は行っていないが、既存の他の複合機（複合機本体を新規購入した場合や有償リースの場合）と比較しても出力料の単価が安価であるため、このまま現行の無償リースを継続した方が効率的と判断した。

委員：本部、関西国際センター、日本語国際センターも含めて全国展開の業者を対象に共同調達すればより安くなる可能性はあるか。

基金：関西国際センターは大阪中心部からかなり距離が離れており、定期的に訪問しやすい地域ではないため、コスト削減につながるかどうかは調べてみないとわからないが、難しいかもしれない。

委員：基金の複合機はリースと購入の両パターンあるのか。

基金：買取りの場合、最近では入札時の本体価格が比較的安価になるケースが増えている。昔ほど本体の価格は高額ではない。関西国際センターでは無償リースは本件契約分のみである。

委員：他機関では安価なリース契約の入札のケースもあった。今後は、新規にリースした場合の価格の比較も行っていただき、また、本体の入れ替えのタイミングの際には無償・有償リース、本体購入の様々な選択肢の中から最も効率的な方法を検討して進めていただきたい。

オ 「関西国際センター食堂運営管理業務委託契約」（平成27年度連統一者 応札・応募案件フォローアップ点検①）

担当部署より、フォローアップ票（別添）に基づき、入札経緯及び事後点検の結果講ずることとした措置について説明。

委員：ハラル対応や一年間 365 日フルに対応が必要であること、関西国際センターの地理的条件などから新規参入が難しい状況も理解できる。現在の取組みを今後も続けていくしか方策はないように思われる。

委員：フォローアップ票に関し、基金の取組みは妥当であると考える。

カ 「日本語国際センターで使用する電気の調達」（平成27年度連統一者 応札・応募案件フォローアップ点検②）

担当部署より、フォローアップ票（別添）に基づき、入札経緯及び事後点

検の結果講ずることとした措置について説明。

委員：入札に参加しうる電気事業者数はどのくらいか。そのうち何者に広報したか。

基金：排出係数が官報に掲載されている特定規模電気事業者名数は3～40社であり、他にも業者はあるが、浦和（埼玉）エリアに電気を供給していない事業もあり、全てに声をかけるのは困難。

委員：様々な対策を既にとっているのだから、残された方策としては、可能性のある事業者に積極的に広報していく以外にないのではないか。

基金：電気の需要と供給の関係はその年の状況にも影響を受け、なかなか容易ではないと実感している。震災後は、応札者なしの入札不調が2年続いた。

委員：引き続き努力を続けていただきたい。結論として、フォローアップ票の基金の取組みは妥当であると考えている。

キ 「モスクワ日本文化センター運営に係る業務委託契約」（平成27年度連続一者応札・応募案件フォローアップ点検③）

担当部署より、フォローアップ票（別添）に基づき、入札経緯及び事後点検の結果講ずることとした措置について説明。

委員：今後モスクワ日本文化センターのステータス交渉が進展すれば、日本から人材を派遣することができるようになり、本件業務委託は不要になる、つまりこの業務は暫定的な措置ということか。

基金：然り。

委員：他に応札者が得られないのは提示される予算上限額が低いからか。

基金：日本語とロシア語に精通している必要がある他、日本の独立行政法人特有の会計ルールや事務手続きを掌握して執務にあたらなければならない。このように非常に高度な業務内容を求めており、現地でこれを満たす人材を確保することは困難なためである。

委員：一者応札もやむを得ない状況と理解する。こうした特殊で固有の事情がある案件については、無理に競争性を持たせようと多大な時間と労力をかけることはかえって手間ばかり増え、効率性を妨げる側面もある。

委員：フォローアップ票の基金の取組みは妥当であると考えている。

（4）平成27年度国際交流基金調達等合理化計画（案）について（審議）

事務局より、基金の調達等合理化計画（案）（別添）に基づき、重点的に取り組む分野、調達に関するガバナンスとその推進体制、及び年度毎の自己評価による点検を行うPDCAサイクルについて説明。

（調達に関するガバナンスについて）

委員：不祥事の防止という項目について、不祥事のチェックは実は容易ではない。外部講師を招いて外部で発生した実例を学び、共有するとよい。

基金：年1回行うコンプライアンス委員会などの機会に盛り込む等検討していきたい。

委員：外部や内部による監査もうまく活用していくとよいだろう。

(重点的に取り組む分野について)

委員：重点的に取り組む分野の基金案で掲げられている「事業の特性により生じる随意契約とそれ以外を明確に区分して整理を行い、随意契約によることができる事由を規程において明確化」する点について賛同する。先ほど審議した連続一者応札の個別案件のように、競争原理を働かそうと努力しても、内容の特殊性ゆえ手間だけがが増えて応札者は増えないというケースについては、随意契約ができる性質のものとして整理するとよいだろう。

委員：一般競争入札に関しても、毎年ではなく、複数年分をまとめて入札にかける方がスケールメリットにより価格が安価になる場合もある。

委員：公的資金の効率的な使用という観点からは、労力というコストがかかっていることも意識して、過大な手間を省くことも考えるべきであろう。随意契約が適しているものや真に競争性を導入すべきものを見極め、両者のバランスをとりながら取り組んでいっていただきたい。

基金：競争性の追求と真の意味での合理化との兼ね合いを検討しながら進めていきたい。今後の契約監視委員会にて、本計画の進捗具合や自己評価の点検等を報告し、審議いただくことになるので、引き続きご助言、ご指導をお願いしたい。

委員：国際交流基金の調達等合理化計画案について、了承。

以上

平成 27 年度第 1 回契約監視委員会 抽出案件一覧

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	抽出理由・点検内容
1	日本語能力試験 2015 年 6 月模擬試験実施契約 (バンコク)	元日本留学生協会	随意契約	THB245,290.00	・契約相手方の選定方法
2	防災備品購入契約	東京都葛飾区福祉工場	随意契約	1,321,889 円	・随意契約理由
3	日本語学習 e ラーニング総合サイトの「システム調達」及び「コンテンツ制作」にかかるベンダー選定支援業務及び開発工程管理業務委託契約	アビームコンサルティング株式会社	企画競争	13,541,040 円	・落札率 100%についての確認
4	関西国際センター複合機保守契約	富士ゼロックス株式会社	随意契約	2,281,131 円 (昨年度実績額)	・随意契約理由
5	関西国際センター食堂運営管理業務委託契約	東京ビジネスサービス株式会社	企画競争	41,332,960 円 (昨年度実績額)	・連続一者応札理由、今後の方策
6	日本語国際センターで使用する電気の調達	株式会社エネット	一般競争	17,678,207 円	・連続一者応札理由、今後の方策
7	モスクワ日本文化センター運営に係る業務委託契約	LLC Kei-ei Consulting	企画競争	EUR48,752.78	・連続一者応札理由、今後の方策